

孔子と『論語』（18 回）

早くも半年過ぎて、日照時間も縮まり始めてます。
毎月ご案内しながら月日の過ぎ去る速さにため息がでます。
真夏のひと時を論語で一息つきたいものです。
どなたでもいつでも歓迎の千葉木鶏クラブです。
情報交換の場でもあります。
皆様のお越しをお待ちしています。

記

1. 日 時 : 平成 28 年 7 月 23 日 (土)
AM 9 時 30 分 ~12 時 00 分
2. 場 所 : 千葉生涯学習センター ☎043-207-5811
<交通案内> JR 千葉駅東口から 徒歩 8 分 駐車場有り
3. 会 費 : 1000 円
4. 演 題 : 孔子と『論語』 第 18 回 山 水 「安岡正篤」講和選集より

(1) 道と命

『論語』憲問第十四

「公伯寮、子路を季孫に愬（うつた）う。子服（しふく）景伯（けいはく）以って告げて曰く、夫子固（もと）より公伯寮に惑志有り。吾が力猶お能（よ）諸（こ）れを市朝（しちょう）に肆（さら）さん。」

「子曰く、道の将（まさ）に行なわれんとするや、命なり。道の将に廢（すさ）れんとするや、命なり。公伯寮、其れ命を如何せん。」

(2) 知者と仁者

『論語』雍也第六

「子曰く、知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ、知者は動く、仁者は静かなり
知者は楽しむ、仁者は寿（いのちなが）し。」

(3) その他教材資料

- ・ 株式会社オカムラホーム 『かざみどり』（パナマ文書 岡村 大作氏）
- ・ 『致知』8 月号 巻頭言「因果関係を弁える」（鍵山周三郎氏）

[千葉木鶏クラブ](http://marushimacub.com) 代表兼事務局 丸島 忠夫

[Email: marushima_t@snow.plala.or.jp](mailto:marushima_t@snow.plala.or.jp) [Tel: 0475-25-1211](tel:0475-25-1211) [Fax: 0475-38-5153](tel:0475-38-5153)

平成 28 年 7 月 23 日 (土)

千葉木鶏クラブ資料

第 17 回 山 水

(1) 道と命

『論語』憲問第十四

「公伯寮、子路を季孫に愬（うった）う。子服（しふく）景伯（けいはく）以って告げて曰く、夫子固（もと）より公伯寮に惑志有り。吾が力猶お能（よ）諸（こ）れを市朝（しちょう）に肆（さら）さん。」

「子曰く、道の将（まさ）に行なわれんとするや、命なり。道の将に廢（すさ）れんとするや、命なり。公伯寮、其れ命を如何せん。」

< 説 明 >

公伯寮（魯人といわれるが不明）が子路（魯の権臣）に讒言（ざんげん）した。子服（しふく）景伯（けいはく）（偉人と言われるが不明）が子路を季孫（魯の権臣）に讒言した。

子服（しふく）景伯（けいはく）が先師にそのことを話していった、あの方（季孫）はまことに公伯寮の言葉に惑わされています。

私の力でも子路が潔白を証明し、公伯寮を死刑にして町の広場にさらすことができます。

「先師が言われた「道が行われようとするのも天命です。公伯寮ごろきが一体天命をどうすることもできないでしょう。」

(2) 知者と仁者

『論語』雍也第六

「子曰く、知者は水を楽しみ、仁者は山を楽しむ、知者は動く、仁者は静かなり知者は楽しむ、仁者は寿（いのちなが）し。」

< 説明 >

先師が言われた

知者は、水を楽しみ 仁者は、山を楽しむ。

知者は、活動的であり 仁者は、静寂である。

知者は、変化を楽しみ 仁者は、永遠の中に安住する。

責了 事務局